



東海村

議会だより

2026.7

第65号



目次

6月定例会

- 6月議会あらまし／工事請負契約／補正予算… P 2
- 賛否の分かれた議案、討論 …… P 3
- 村政を問う！〔一般質問〕 …… P 4～9
- 9月定例会日程（予定）／まちづくりNew Face… P 10

6月20日に開催された
「ジャガイモ収穫まつり」

6月議会 あらまし



※全議案の議決結果は
議会ホームページで
ご覧いただけます。

令和8年第2回定例会（6月議会）は、6月1日から18日までの会期で開催し、9日から11日の日程で10名の議員が一般質問を行いました。また、今定例会では、各常任委員会において令和8年度補正予算や請願2件についての審査を行いました。

最終日18日の議案審議では、須和間霊園合葬式墓地整備工事における工事請負契約の締結など、村長提出の議案を含む29件全てを可決・承認・同意しました。また、請願2件を不採択としました。

工事請負 契約

合葬式墓地の工事が始まります

社会情勢の変化や墓地に対する価値観の変化から、「合葬式墓地」を須和間霊園内に整備するため、「東海村合葬式墓地整備基本計画」に基づく工事がいよいよ始まることになりました。

なお、令和9年度の供用開始を目指して工事が進められますが、申込開始時期や使用料等の詳細については現在協議中であり、今後お知らせされる予定です。



合葬式墓地のイメージパース図

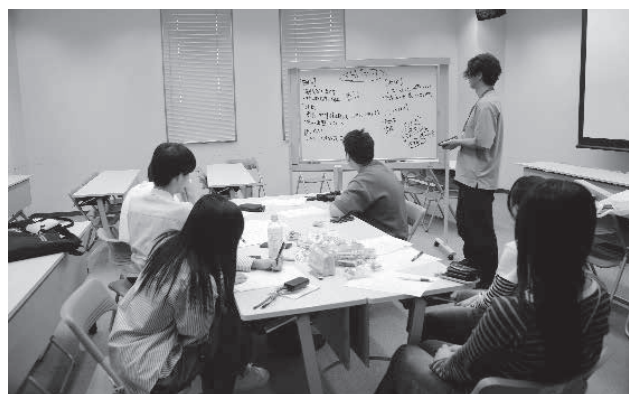
■契約金額 1億923万円

補正 予算

中高生の「居場所づくり」の実証へ



実証事業が行われる「なごみ」



わかもの会議の活動の様子

中学校部活動の地域展開など、放課後や夏休みの過ごし方が変わっていく中で、子どもたちからは友だちと一緒に過ごすこともできる「第3の居場所」を望む声が多く寄せられています。

そこで、「なごみ」の空きスペースを有効活用し、見守りスタッフを配置するとともに、Wi-Fiや自習席等の環境を整備し、見守り型の運営による居場所づくりの実証事業を行うための補正予算を今定例会で可決しました。

■補正予算額 395万7千円

各議員の賛否（議案などで賛否の分かれたもの）

令和8年第2回定例会（6月議会）では、32件の議案等のうち、賛否が分かれたのは4件でした。以下には、賛否が分かれた議案名とその要旨についてお知らせします。

議案等名	議員名	新政とうかい											公明党		光風会				結果		
		飛田静幸	大内則夫	越智辰哉	河野健一	吉田充宏	寺門定範	笹嶋士郎	三上修	松江秀明	川崎克彦	川崎裕弥	宮本翔太	岡崎悟	植木伸寿	恵利いつ	村上志保	大名美恵子		阿部功志	
請願第8－1号		×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	不採択	
請願第8－2号		×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	不採択
承認第6号		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
承認第7号		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

○…賛成 ×…反対

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。

賛否の分かれた議案などの名称と要旨

請願第8-1号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願書 最低賃金の全国一律制度を確立し、地域間格差を縮小させるための施策を進めるとともに、事業主負担の軽減など中小企業への具体的経済支援策を拡充すること、茨城県の最低賃金を物価高対策として令和8年10月に1,500円以上に引き上げ、1,700円を目指すため、政府および関係機関に対し意見書の提出を求めるもの。
請願第8-2号	「日本政府に核兵器禁止条約（TPNW）への参加・調印・批准を求める意見書」を提出するための請願書 核兵器を法的に違法化した国際条約である「核兵器禁止条約」に、日本が参加・調印・批准することを求める意見書を、国に提出することを求めるもの。
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて（東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例） 令和8年第1回定例会で議決の東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例に関し、地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、その一部を改正する条例について専決処分を行ったため、地方自治法第179条第3項の規定により報告し、承認を求めるもの。
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて（東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 地方税法施行令等の一部を改正する政令および地方税法施行規則および地方税法施行規則の一部を改正する等の省令の一部を改正する省令の施行に伴い、東海村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について専決処分を行ったため、地方自治法第179条第3項の規定により報告し、承認を求めるもの。

請願第8-1号

賛成

光風会 恵利 いつ 議員

賃金の高い近隣都県への人材流出を防ぎ、働く人の生活と地域経済を守るために、最低賃金の引き上げと事業者の負担軽減や経済支援策を一体で求めるもの。地域経済の持続可能性を高めるためにも、請願は採択すべき。

反対

新政とうかい 越智 辰哉 議員

最低賃金引き上げの重要性は十分認識するが、請願で示された具体的な金額とスケジュールは、あまりにも急進的であり、事業経営の持続可能性とセットになった労使双方が納得できる段階的かつ持続可能な引き上げが重要。



討論とは…

自分の意見（賛成または反対）を表明し、その意見に反対する議員、賛否の意思を決めていない議員を、自分の意見に賛同させることを目的に行うものです。

請願第8-2号

賛成

阿部 功志 議員

イランを攻めた米国イスラエルを批判する決議書に賛成しながら本請願に反対するのは大量殺りくを批判する姿勢として一貫性に欠ける。ノーベル賞受賞の日本被団協の活動も否定するもの。反核の声を上げる勇気を持ちたい。

反対

公明党 岡崎 悟 議員

条約批准への動きは無く、環境も整っていない。批准は時期尚早。まずは核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバーとして参加し、唯一の被爆国だからできる役割を果たし、平和と安全への取り組みを進めていただきたい。

承認第7号

反対

大名 美恵子 議員

国による子ども・子育て支援金上乗せへの対応では、村から「国保への上乗せではなく国の責任で抜本的施策を」と求めるべき。できないなら岩手県陸前高田市等のように「本体分」を引き下げて支援金増額分の相殺を。

村政を問う!

一般質問

川崎 克彦 議員 P.5

- 1 持続可能な財政運営を問う
- 2 原子力と村政運営を問う
- 3 事務事業評価と事業改善を問う
- 4 **生活アクセスと地域維持を問う**

植木 伸寿 議員 P.5

- 1 関係人口の創出・拡大への取組は
- 2 R S ウイルス感染症の症状とワクチン接種の取組は
- 3 **女性防災リーダー育成と防災力強化への取組は**

宮本 翔太 議員 P.6

- 1 公共施設の多機能化
- 2 離婚前後家庭支援
- 3 公共スポーツ施設の活用
- 4 **幼児主体の保育の推進**

三上 修 議員 P.6

- 1 **円安・金利上昇・中東海峽問題下の物価対策**
- 2 東海駅の利便性向上策
- 3 学童クラブの児童密度の緩和
- 4 解体されない廃止集合住宅の対策

岡崎 悟 議員 P.7

- 1 **感震ブレーカーの設置・普及支援について**
- 2 糖尿病予防対策の現状について
- 3 犯罪被害者支援見舞金制度について
- 4 1学級1担任制とチーム担任制について

松江 秀明 議員 P.7

- 1 **自転車の青色切符制度と安全な交通環境**
- 2 除去土壌処分事業の終了
- 3 自治体情報システムの標準化と運用の在り方

大名 美恵子 議員 P.8

- 1 教育のデジタル化と児童・生徒の状況について
- 2 **小・中学校の女子トイレに生理用品の設置を**
- 3 介護保険第1号被保険者の第10期保険料の引下げについて
- 4 東海第二原発の「原子炉ウェル手摺の落下防止措置における検討不足について」に関わって

村上 志保 議員 P.8

- 1 自治会運営の課題と見直し
- 2 **不登校児童生徒支援の現状は**
- 3 飼い主のいない猫（野良猫）対策のさらなる推進を
- 4 抜け道となっている生活道路の安全対策は

川崎 裕弥 議員 P.9

- 1 道路沿線の植木や樹木の管理
- 2 **エシカル消費の推進**
- 3 農業現場での安全対策や防犯対策等の取組

阿部 功志 議員 P.9

- 1 **見直した後の避難行動要支援者の数は**
- 2 原発再稼働による村の経済効果は
- 3 広域避難計画に基準も認定機関もないが
- 4 小中学校のPTAの実情は
- 5 原電が裁判で無断録音の不正、村長の受け止めは

※青字の質問は次のページ以降で掲載。
※質問要旨は議会ホームページでもご覧いただけます。

Q 東海村議会

検索



問 生活アクセスと地域維持は

答 将来変化を見据え柔軟に対応

問 地域構造変化や生活アクセス課題の認識は。

答 少子・高齢化に伴う介護・医療、買い物、空き家、地域の担い手不足によるコミュニティ存続などの課題は本村も例外ではなく、特に買い物や通院、各種手続きに伴う移動・アクセス問題は重要な課題と認識している。また、デマンドタクシーや路線バスによる公共交通政策と、タクシー券助成などの福祉的支援策の両面から課題解消に努めている。

問 住民生活に必要な機能や生活圏全体をどう維持するか。

答 クリニックや活動の場など日常生活で必要であると感じる機能が徐々に弱りつつあると実感している。弱りつつある機能を行政だけで埋めていくことは困難であり、地域や民間事業者との連携・力の結集が重要である。このため、地域福祉計画に基づき、人や地域のさまざまな資源がつながり支え合う体制づくりを進めるとともに、人口動態や地域の変化を見極めながら対応していく考えである。



高齢者の外出や交流による介護予防を目的とした買い物ツアーの様子



新政とうかい
かわさき かつひこ 議員
川崎 克彦

問 女性防災ハンドブックの作成は

答 意見を聴取しハザードマップに載せる

問 今後の災害に備え、女性の視点を踏まえた避難所運営や女性防災リーダーの育成に今後どう取り組むのか伺う。

答 避難所運営の課題は多様化しており、女性の視点をもって対応することが重要。自主防災組織や防災訓練への女性の参加を促進するほか、第6次東海村男女共同参画行動計画に目標を設定して取り組むこととしており、防災講座等の活用で女性防災リーダーの育成に努めている。



村内団体の総会にて女性の視点に立った防災講習会の様子



公明党
うえき しんじ 議員
植木 伸寿

性の視点を取り入れた防災ハンドブックの作成を求めたい。小さな子どもを抱える母親も避難行動のイメージを持ちやすいと考える。

答 災害時、避難所生活への不安や迷いから、避難をためらうケースがあると認識。今年度はハザードマップの改訂を予定しており、平時からの備えも含め、実際の避難行動につながる内容となるよう検討する。その過程で、関係団体や女性団体等から意見を聞くなどして、より効果的なものとなるよう努める。

問 幼児主体の保育を 東海村の文化に

答 共通理解と地域連携強め推進していく



新政とうかい
みやもと しょうた 議員

問 「幼児主体の保育」について、保育者間の共通理解と課題、実践状況を伺う。

答 令和7年度に「自ら考え行動し、人と共に育ちあう子ども」を保育目標に定め推進中。子どもへの関わり方や個性の捉え方など保育観の違いが課題で、研修と対話で共通理解を深めている。目指す保育観は、多様性を理解し豊かな遊びと体験を通じて一人一人の可能性や学びを保障すること。実践では、5歳児クラスで自ら小鳥の餌台作りを立案し試行錯誤の末に達成感を得た

事例があり、保育者が伴走者として関わるこの好事例を各施設に展開している。

問 現場にはこうした実践がすでに積み重なっている。保育者が育ててきたこの実践を村の財産として、保育者・保護者・地域・行政が理念を共有して支える仕組みを整える考えはあるか。

答 まず保育者の共通理解を深め、保護者の保育参加や地域との連携を強めながら、幼児主体の保育を推進していく。



村内公立幼稚園を統合し幼児教育の拠点として再編された村松幼稚園

問 中東海峽問題下の物価対策は

答 適切な施策を速やかに講じる



新政とうかい
みつはし おさむ 議員

問 ホルムズ海峡の封鎖問題で石油製品の高騰や品切れが相次ぐなか、物価が急激に上昇してインフレ状態となり、国民生活は窮地に追い込まれている。本村の物価高騰の具体策はいかに。

答 国の追加支援策の動向を注視しながら、村として必要に応じて適切な施策を速やかに講じることで、村民生活を守るための支援を着実に進める。

問 政府は3兆円を超える赤字国債を財源に、主に燃料の高騰対策の補

助を行うが、住民は節約が難しい食糧費の高騰に苦しんでいる。本村はこの点を踏まえて、どのように住民を救済するのか。

答 こうした実態を踏まえ、生活支援につなげる施策について幅広く検討中。ただし、依然として村の財政状況は厳しい局面にあり、将来の財政運営への影響も慎重に見極める必要があるため、国の交付金の動向や他自治体の取り組みなどを把握し、実効性の高い支援策を適時適切に講じられるよう取り組む。



高騰が続く「物価の優等生」の卵

問 感震ブレーカー設置で 電気火災予防を

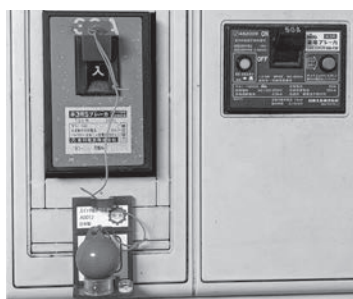
答 9年度地域連携で住宅防火対策を展開

問 平成27年と令和6年の議会質問で、電気火災予防になる感震ブレーカー（地震で強い揺れを感じた時電気を遮断する）の設置普及を求めた。国は令和6年に、県も令和7年にそれぞれ防災計画を改訂して、感震ブレーカーの普及を進める方針を示した。県は今年度、市町村を実施主体とする感震ブレーカーの設置に係る補助制度を創設した。制度導入にあたって見解を伺う。

答 感震ブレーカーは地震発生時の電気火災の予防に有効で、



公明党
おかざき さとる 議員
岡崎 悟



電気火災を防止する簡易型感震ブレーカー

出火抑制に一定の効果があると認識。機器の種類が多様で、設置方法によって価格帯に幅があり、効果的な支援を行うためには、需要の動向や設置後の維持管理等の検討も必要。感震ブレーカーへの補助制度の導入に当たっては、より効果的な住宅防火対策の支援も視野に入れ、早ければ来年度の実施を検討したい。自治会や自主防災組織への周知と広報紙による啓発を行い、改訂を予定するハザードマップにおいても情報を掲載したい。

問 自転車と歩行者の 安全な通行環境は

答 安全確保へ環境整備を進める

問 青切符制度の導入により自転車の交通違反への対応が見直されている中、村として、自転車の安全確保と歩行者の安心を両立させる交通環境を、どのように具体的に形成していくのか伺う。

答 自転車と歩行者の安心の両立は、それぞれを物理的に分離することが最も効果的であると認識している。一方で、幅員の制約がある生活道路においてはグリーンベルトを設置し、歩行空間の安全を確保している。

問 青切符制度の導入により、村として生活



新政とうかい
まつえ ひであき 議員
松江 秀明



歩行空間確保のためのグリーンベルトが施された村道

道路や通学路における安全環境に生じている変化をどのように適切に把握していくのか、また、どのように具体的なかつ効果的な安全対策を講じていくのか伺う。

答 子どもたちの下校時刻に合わせ、青色パトロール車による巡回を実施し実態の把握に努めている。仮に危険な状況等を確認した場合、自転車利用者等に声掛けを行うなど、事故の未然防止と安全環境の確保に努めている。

問 女子トイレへの 生理用品設置に関して

答 日常的な相談しやすい環境づくりを



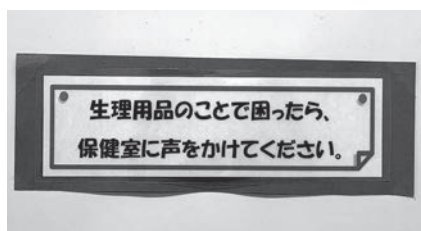
おのだ なみえ子 議員

問 小・中学校時期の生理への対応で重要なのは、月に1回「妊娠の準備」のための現象を正しく理解し、正しい対応を女子児童・生徒が等しく習得する「生理の大事さ」を学校全体で共有できる取り組みと考える。

城里町の中学校では生理用品をトイレに設置し、補充は掃除当番の子が進んでやっている。それまで「生徒がトイレに生理用品を持って行くのに神経を使っていた」ことや「急に生理になった時困っていた」などが解消され、喜ばれている。

と聞く。先生と児童・生徒、指導室や教育委員会等、関係者で設置について意見交換を行っているだろうか。

答 教育現場では、子どもが困った時に、自分で発信し、切り抜けるスキルを身に付けさせる必要がある。日常的な相談しやすい環境づくりに努めるとともに、今後、議員からお示しいただいた取り組みを校長会や養護教諭部会で紹介し、児童生徒の意見等を聞く機会を設けていきたいと考えている。



村内学校的女子トイレの洗面所に掲示されているメッセージカード

問 本村の不登校支援の 現状と方向性は

答 一定の成果あるが課題も認識



光風会
むらかみ しほ 議員

問 本村の不登校児童生徒支援の現状は。

答 中学校内フリースクール設置から2年経過し、教室に入ることができない生徒が安心して学べる場として一定の役割を果たしている。教育支援センターたんぽぽは、児童生徒の状況に応じた相談支援や通所による学習・生活支援等を継続して実施している。

問 小学校の不登校児童支援がさらに必要だが対策は。

答 小学校内フリースクール設

置は課題も含め検討していく。本村で予定されている民間フリースクールの開設は、学びの場の選択肢が広がる点で大変意義がある。

問 民間フリースクールとの連携の具体的な内容は。また民間施設の運営者や利用者に対する補助事業を検討してはいかがか。

答 県のガイドラインを踏まえ、児童生徒の状況に応じた学びの選択肢が広がるよう、適切に対応したい。補助事業は他自治体の実施状況、目的や効果などを踏まえ、選択肢の一つとして研究してゆく。



図書館の隣にある教育支援センターたんぽぽくらぶ

問 東海村らしい エシカル消費の推進は

答 環境学習と地域連携で進めていく



新政とうかい
かわさき ゆうや
川崎 裕弥 議員

問 持続可能な社会の実現に向け、エシカル消費について本村の認識・現状・取り組みは、

答 エシカル消費は、人・地域・環境に配慮した商品やサービスを選ぶ行動で、SDGsの「つくる責任つかう責任」にも関連する。住民アンケートでは、ごみ分別の実践率は高い一方、環境に配慮した商品購入の実践率は低い状況である。学校での環境学習や環境配慮型店舗のエコ・シヨップ認定等を進め、エシカル消費の理解と実践を広げていく。



人や社会、地球環境に配慮した消費行動

問 エシカル消費の実践率向上を、どのような指標で検証するのか。また、学校での学びを家庭や地域へ広げる取り組みは。

答 「商品購入時に環境への影響を考慮した選択」の実践率を、令和17年度までに24・7%から70%へ高めることを目標とし、住民アンケートで行動変容を検証する。その上で、学校での学びを家庭や地域で実践につなげるため、広報や事業者との連携、イベント等を通じ、エシカル消費を地域全体で進めていく。

問 個別避難計画の 避難行動要支援者数は

答 要支援者の名簿記載者数は8,758名



あべ こうし
阿部 功志 議員

問 国の指導で見直した後の避難行動要支援者の数は。

答 今年4月1日現在で県へ報告した本村の避難行動要支援者名簿記載者数は8,758名、高齢者が8,666名、64歳以下で身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳等を所持する方が90名、これらに準ずる方が2名。

問 今後どのように対処するのか。

答 約8,700名は、県が国の見解を厳格に運用するよう求めていることによる候補者名簿の段階。ここから真に支援が必要な方を抽出する。



災害時の避難所の一つである白方コミセン

出する。原子力災害時は村職員を中心に支援に当たり、状況に応じて国・県などの支援を求める。要支援者の支援をする人の確保人数あるいは確保策は、真に必要な方の実数により異なるため、実際に支援が必要な方を抽出する作業を急ぐ。

問 個別避難計画が出そろわないうちに原発再稼働の議論に入ることはあるか。

答 安全性向上対策工事の完了や緊急時対応の取りまとめが前提。いずれも丁寧に進める。

フジタコーヒー 焙煎所

まちづくり New Face

新たに村に仲間入りした店舗や団体などを紹介。
地域に貢献する活動を応援していきます。



自家焙煎のコーヒー屋、フジタコーヒー焙煎所です。
ご注文後に焙煎したての豆、一杯一杯丁寧に入れる
こだわり、オリジナルのコーヒーアイスクリーム
と日常に寄り添うコーヒーを届けています。店舗営
業に加え、ドライブスルーやフジコ祭、地域への
出張販売も行い、もっと気軽に楽しめるコーヒーの
形を提案。村のお祭りへの参加やイベント出店、子
ども向けの職場体験、年配の方向けのスマホ教室な
ど、世代を超えた交流の場づくりにも取り組んでい
ます。

「ただ飲むだけではなく、人が集まり、会話が生
まれ、また来たくなる」そんな「村のコーヒー屋」
として、東海村から新しいカルチャーと温かい時間
を発信しています。



焙煎も見られて、つい長居したくなるお店です

表紙写真の紹介



シリーズ 未来へ

今回が最後となる舟石
川コミセン主催の「ジャ
ガイモ収穫まつり」。地
域住民の協力のもと盛況
のうちに終了しました。
当日、見事に掘り当てた
ジャガイモを掲げて兄弟
そろって記念写真。収穫
したジャガイモはおいし
く食べられたかな。

傍聴から はじめよう！

どなたでも傍聴できます。
役場議会棟2階にお越し
ください。(受付は30分前から)

傍聴の定員は42名

(うち、車椅子専用スペース2名分有り)



9月 定例会日程(予定)

期 日	時 間	内 容
9月1日(火)	午前10時～	議案上程
9月9日(水)	午前10時～	一般質問
9月10日(木)	午前10時～	一般質問
9月11日(金)	午前10時～	一般質問
9月14日(月)	午前9時～	予算決算委員会

については
インターネットでライブ配信



映像配信ページ

期 日	時 間	内 容
9月15日(火)	午前9時～	予算決算委員会
9月16日(水)	午前9時～	予算決算委員会
9月18日(金)	午前10時～	予算決算委員会
9月28日(月)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※議案上程・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。